

## トピックス

### スギヒラタケにご注意

さわやかな秋晴れの日が続いています。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋と楽しみ方は人さまざま。来たるべき冬の感染症シーズンに備えて知力・体力を蓄え、感性を磨いておきましょう。

さて、今回の話題は感染症と関係があるかどうかは現在のところ不明ですが、最近スギヒラタケを食べた、腎疾患のある中高年者の中から急性脳症を発症する事例が相次ぎ、10月22日には厚生労働省による注意喚起<sup>\*1</sup>が発表されています。10月27日までに新潟、山形、秋田、岐阜県などで合わせて40人(うち死者12人)の発症が報告されています。スギヒラタケは夏から秋にかけて北陸、中部、東北地方を中心に自生する食用キノコ<sup>\*2</sup>で、これまでに毒性は報告されていません。スギヒラタケと急性脳症の因果関係は現在調査中ですが、厚生労働省は、安全性が確認されるまで、腎機能の低下している人はスギヒラタケの摂取を控えるように勧告しています。

脳症と似た言葉に脳炎があり、基本的には脳炎は種々の病原体による脳組織の炎症に起因する疾患を意味しますが、急性脳炎の届出基準では、炎症所見が明らかでなくても同様の症状を呈する脳症も脳炎に含むと定義されています。急性脳炎の届出に関しては、ウエストナイル脳炎と日本脳炎は四類感染症に、その他の急性脳炎は五類感染症(全数把握)に分類され、診断した医師は保健所長を経由して届け出ることになっています。

急性脳炎の海外における流行として、しばしば話題に上るウエストナイル熱・脳炎は、蚊が媒体するウイルスによる病気(恐ろしい蚊による伝染病<sup>\*3</sup>)で、アメリカでは今年も流行が報告されています。幸い日本ではこれまでのところウエストナイル脳炎の報告はありません。ちなみに、国立感染症研究所の感染症発生動向調査2004年第41週報<sup>\*4</sup>によると2004年の1月から10月10日まで間に日本で報告された日本脳炎は4件で、それ以外の急性脳炎は54件でした。



スギヒラタケの写真<sup>\*5</sup> (「野生きのこの世界より」)

\*1 <http://www.mhlw.go.jp/topics/2004/10/tp1022-1.html>

\*2 <http://www.rinya.maff.go.jp/puresu/h16-10gatu/1026sugihiratake2.htm>

\*3 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/mosquito.html>

\*4 <http://idsc.nih.gov.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2004-41.pdf>

\*5 <http://www.afftis.or.jp/kinoko/231.htm>

### (関連リンク)

愛知県感染症情報 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)

インフルエンザ関連情報リンク集 ([http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/inf\\_links.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/inf_links.html))

## 定点の先生方からのコメント

### 尾張西部地区

8歳女 流行性耳下腺炎  
左顎下腺腫脹(強度)  
右側は極軽度腫脹  
両側耳下腺ほとんど腫脹せず  
抗体で流行性耳下腺炎を確認  
【一宮市 後藤小児科医院】  
病原性大腸菌O1 0歳女、11歳女  
病原性大腸菌O8 30歳女  
【尾西市 城後小児科】

溶連菌感染症少し増加してきました。  
アデノウイルスによる扁桃炎 1名ありま  
した。  
【江南市 みやぐちこどもクリニック】  
手足口病がまだ散見されます。  
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

### 尾張東部地区

カンピロバクター腸炎 8歳男、12歳男  
【瀬戸市 津田こどもクリニック】  
今週はこれといった感染症はみられませ  
んでした。  
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】  
23歳男 カンピロバクター腸炎  
【豊明市 豊明団地診療所】  
EBウイルス感染症2名入院しました。  
【春日井市 春日井市民病院】  
9歳のカンピロバクター腸炎  
【春日井市 朝宮こどもクリニック】

今週もムンプスがみられました。  
1週間くらい発熱の続く気管支炎が流行し  
ています。  
【春日井市 かちがわ北病院】  
2歳女、O153(++) VT(-)  
22歳女、O15(++) VT(-)  
【春日井市 竹内医院】  
流行性耳下腺炎小流行  
【小牧市 小牧市民病院】  
胃腸炎が少しずつ増えてきました。  
【大府市 まえはらこどもクリニック】

### 西三河地区

サルモネラ 2名  
病原大腸菌O127  
カンピロバクター 1名  
細菌性腸炎が多い気がします。  
【豊田市 田中小児科医院】  
2歳男 サルモネラ O9群(+)  
【岡崎市 花田こどもクリニック】  
3歳女 病原性大腸菌O26 VT(-)、カンピ  
ロバクター  
3歳男 病原性大腸菌O1 VT(-)、カンピ  
ロバクター  
8ヵ月男 病原性大腸菌O6 VT(-)  
【岡崎市 にいのみ小児科】

サルモネラO9 9歳男  
【西尾市 こどもクリニック宮地医院】  
病原性大腸菌O18 VT(-) 1歳男  
【幸田町 とみた小児科】

### 東三河地区

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が多いです。  
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】  
クループ様の症状を示す乳幼児が多く見ら  
れます。  
【豊橋市 あずまだこどもクリニック】

6歳女、9歳女、6歳男 マイコプラズマ肺炎3  
名  
【豊橋市 野村小児科】  
13歳男 便培養にて黄色ブ菌検出  
【田原市 かわせ小児科】

## 一～三類感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

パラチフス

<関連リンク> 二類感染症

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#2-6>)

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	備 考
1	豊橋市	23	男	10 / 11	10 / 11	10 / 19	推定感染地域 インド

## 四類・五類(全数把握)感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

梅毒 1 例(早期顕症、推定感染地域:国内、推定感染経路:性的接触)

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#5-11>)

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

朝の冷込みを感じる昨今です。新潟の地震の被害者の方々の苦労がしのばれます。神戸の大震災の時はインドで働いていました。インド人研究者が感心しておりました。「日本人は素晴らしい。バケツを持った被災者が給水車に並んでいる。インドじゃ大混乱だ。」いつも貴重な情報を有難うございます。10月前半のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市内：名鉄病院福田先生からはクル - プ症候群を引き起こすウイルス感染症が増加（重症で要入院あり）、ムンプスが多く髄膜炎の入院あり、手足口病散発、マイコプラズマ肺炎の入院あり、城北病院渡辺先生からはRSウイルス陽性の細気管支炎例増加、嘔吐と高熱、下痢を伴わない急性胃腸炎散発、熱発患者少しづつ増えムンプスの小流行あり、第二日赤岩佐先生からは仮性クル - プの入院とムンプスが目立つ、千種区今枝先生からは感染症はまれで、口内炎（微熱、舌先白点と疼痛、40歳女性）、三菱病院入山先生からは感染性胃腸炎13名（カンピロバクタ - 1名、病原性大腸菌O - 1が6名、O - 25、O - 142、O18、O - 128各1名、黄色ブドウ球菌2名）、ムンプス2名、溶連菌感染症1名、マイコを含む肺炎の入院10名、仮性クル - プの入院1名、気管支喘息の入院が数名、中京病院柴田先生からは仮性クル - プの入院例増加、とのお手紙でした。
- 2) 尾張地区：犬山市武内先生からは感染性胃腸炎とムンプスがそれぞれ散発中、江南市昭和病院小児科からは外来で手足口病あり、マイコプラズマ肺炎とRSウイルス感染症の入院が目立つ、常滑市民病院上田先生からはウイルス性気管支炎、感染性腸炎、水痘、突発疹が多く、ウイルス性仮性クル - プや感染性腸炎、突発疹による入院が目立つとのお手紙でした。
- 3) 三河地区：トヨタ病院木戸先生からは喘息で入院する子が増えているが目立つ感染症は特にない、刈谷市田和先生からはサルモネラ（+）の腸炎がたまにあり、手足口病2例あり、碧南市永井先生からはムンプスと水痘が時々あり、豊橋市からは手足口病、ヘルパンギ - ナやムンプスが少数例あり（市内長屋先生、宮澤先生）とのお手紙でした。有難うございました。

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

2004年9月24日（79巻39号）<http://www.who.int/wer/2004/wer7939/en/>

E型肝炎。チャド：最近の状況。6月26日 - 9月12日、難民キャンプでE型肝炎の臨床診断例1,292例（死亡42、罹患死亡率3.3%）。全体として減少中。WHOチ - ムの評価では衛生状態不良、水の塩素消毒は不十分。水源の塩素消毒、石鹼の配布、住民教育が進み住民の理解とともに事態は改善しつつある。

ポリオ根絶後の弱毒生ワクチン中止。2003年末にはポリオ常在国数は6カ国に減少し、1988年に全世界で35万あった届出患者数は03年には800例以下（>99%減少）となり、常在各国に対する集中的な根絶計画が進行中であるが、一方で生ワクチンの中止が話題となっている：流行が根絶すればポリオウイルスのうち弱毒生ワクチン株は生ワクチン製造に、強毒株は不活化ワクチン製造用に、試験管内だけで維持されることになる。本報はポリオ根絶後のポリオウイルスによる麻痺発生のリスクの推定と生ワクチン中止・不活化ワクチンへの切替えに関する総説である（表あり）。1ワクチン株由来のポリオウイルス感染：ワクチン株感染による麻痺性ポリオ発症は2~400万人の集団コホ - ト調査で一定数（250~500例）発症している。

接種者から周囲へのワクチン株伝播による麻痺性ポリオ発生は99年 - 00年で3例。集団免疫低下で増加が予測される。2 野生株由来のポリオウイルス感染による麻痺： 不活化ワクチン製造工程からの流出が1事例、 保管中の材料からの流出（原因不明）が2事例、02年までに報告されている。この生ワクチン副作用例対不活化ワクチン事故例から考えると不活化ワクチンへの切替えが考慮されるべきである。3 切替え時期としては、世界的に根絶が確認されてから3年間は経過観察しつつ現行の方式で生ワクチン接種を継続、3年目を中止目標年として5年目には完全に切替える。4 不活化ワクチン接種方式はWHOとして世界統一方式をとらず各地域の実情（ワクチン製造・供給・担当スタッフと資金・サ - ベイランス網など）に合わせて進める。その他の事項についても詳細な提言が述べられている。

サルモネラ症。抗生剤：WHOの新勧告。04年2月、バングラデシュにおける専門家会議の提言。従来のナリジク酸製剤とニュー - キノロン製剤（シプロフロキサシン）の比較が検討され、安全性はほぼ同じで小児にも安全に使用できる。 経済性についてはニュー - キノロンがやや安価、との結論がだされた。

9月17 - 23日届出。コレラ：ウガンダ、タンザニア。

**2004年10月1日（79巻40号）** <http://www.who.int/wer/2004/wer7940/en/>

コレラ。チャド：6月14日 - 9月19日の報告数は3,910例（死亡164、罹患死亡率4.2%）、発生は西部では減少中、流行は首都ヌジャメナ北部から首都周辺へ。保健省、NGOなど国際組織チームが難民の多い同国東部地方で対策実施中。

E型肝炎。チャド：最近の状況。6月26日 - 9月17日、難民キャンプでE型肝炎の疑い1,442例（42死亡、罹患死亡率3.2%）報告。難民キャンプでは減少傾向であるが隣接農村部では減少していない。上記の国際コレラチームが全水源の塩素消毒、衛生状態改善と住民教育実施中。

E型肝炎。ス - ダン：最近の状況。5月22日 - 9月17日、ダルフル州当局にE型肝炎の疑い6,861例（死亡87）届出。同州西部地区を中心に増加中。同国保健省、ユニセフ、国際赤十字や国際的NGO各団体が住民の集団教育、石鹼配布、新しい井戸掘り、飲料水の塩素消毒活動などを展開しているが既存の人的・物的資源は不足しており発生は続いている。水系感染症予防の更なる努力が要求されている。

リンパ系フィラリア症（注：蚊が媒介する寄生虫症。増殖した子虫がリンパ管閉塞、乳び尿、陰のう水腫、象皮病など発病）。13カ国の定点における根絶活動。住民全員を対象とした集団薬剤投与と結果監視。2000 - 01年に開始、本報は中間報告。アフリカ地区（ブルキナファソ、コモロ、ガ - ナ、ト - ゴ、ザンジバルで14定点。）、アメリカ地区（ハイチ、5定点）東地中海地区（エジプト、72定点）メコンプラス（メコン川とその周辺）地区（ミャンマ - 、フィリピン、17定点）南アジア（スリランカ、9定点）南太平洋地区（仏領ポリネシア、サモア、バヌアツ、16定点）。集団投与を4回実施。参加率はフィリピンやエジプトは良好で患者減少率も100%近いが、他のアフリカ諸国などでは参加率や患者減少率が50% - 70%台と良くない地区も目立つ（膨大な一覧表つき）

インフルエンザワクチン。世界におけるワクチン供給。各メ - カ - からの届出の国別集計一覧表。2000 - 2003年の4年間で各国共に増加。

安全な飲料水供給のガイドライン。9月21日、WHOは安全な飲料水供給のための新ガイドラインを発表。[http://www.who.int/water\\_sanitation\\_health/dwq/gdwq3/en/](http://www.who.int/water_sanitation_health/dwq/gdwq3/en/)。水系感染症（大腸菌O157、カンピロバクター - 、クリプトスポリジウムなどが話題になり、最近ではE型肝炎ウイルスが問題になっている）と化学的な汚染が当面の話題となっている。簡単な総説と解説。専門家リストは[http://www.who.int/topics/drinking\\_water/en/](http://www.who.int/topics/drinking_water/en/)。

9月24 - 30日届出。コレラ：ベニン、チャド、ニジェ - ル、タンザニア。

愛知県感染症情報

2004年第43週(平成16年10月18日～10月24日)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	鳥インフルエンザ(高病原性)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
<b>愛知県</b>																										
<b>愛知県 (名古屋市を含む)</b>	195	182	35	51	13	3	0	13	107	380	71	56	20	89	1	1	15	2	219	0	24	0	0	2	0	0
<b>総数 (名古屋市は除く)</b>	125	112	24	37	12	3	0	12	58	269	58	50	14	73	1	1	9	2	167	0	13	0	0	2	0	0
名古屋	70	70	11	14	1			1	49	111	13	6	6	16			6		52		11					
尾張東部	瀨戸	9	9	2	3	1	2		5	2	16	4	2				1		4		1					
海部津島	津島	7	7	2	2	1					20	2							15		2					
尾張中部	師勝	4	4	1	1						10					1										
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1				5	49	5	6	1	5				39		4					
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1			2	4	12	6	4	2	7			2		24		1				
	江南	6	6	1	2				1	6	30	4	3	3	9			1		9		1				
知多半島	半田	6	6	1	2	1				1	6		11	1	2				13							
	知多	7	7	2	2				1	3	16	3	8		6				9							
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1				5	6	10	7	1	7	1		1		7		1				
	衣浦東部	11	11	2	4	1				1	12	6		2	7			1		8						
	西尾	5	5	1	2	1					6	5	1		1				8							
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	1		2	11	26	2	3	2	3			1	1	17		2		1		
	加茂	3	3		1					1	5	2		1					1							
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1			1	17	34	8	5		8			3		6		1		1		
	豊川	9	8	1	2	1				2	21	1		1	9				6							
東三河北部	新城	2	2			1													1							



愛知県感染症情報

2004年第1週～第43週(平成15年12月29日～平成16年10月24日)(累計)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	218	37,701	2,778	7,828	31,572	9,973	1,823	2,620	5,363	125	130	7,115	58	8,525	28	1,368	12	23	229	0	0
愛知県 総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	190	29,465	2,125	5,337	21,699	8,064	1,470	2,033	4,239	110	65	5,495	58	6,812	19	1,093	12	23	227	0	0
名古屋	70	70	11	14	1	28	8,236	653	2,491	9,873	1,909	353	587	1,124	15	65	1,620		1,713	9	275			2		
尾張東部	9	9	2	3	1	30	1,855	182	674	1,343	518	51	202	271	11	5	479	7	324	4	25			42		
海部津島	7	7	2	2	1		2,036	106	202	2,196	534	37	70	151	6		198		410		77		6	51		
尾張中部	4	4	1	1			1,006	25	84	891	194	19	102	66		1	175		100		40					
尾張西部	16	12	3	4	1	10	2,133	239	485	2,447	661	334	96	403	3	2	306	3	577		47	1		1		
尾張北部	9	9	2	3	1	18	2,832	275	632	1,398	847	90	255	394	12	6	448	3	758		47	3	14	1		
	6	6	1	2			1,109	91	590	1,887	706	46	110	354	5	3	348	2	398		58					
知多半島	6	6	1	2	1	6	1,060	107	293	730	373	38	135	202	4	2	162	3	433	2	7			5		
	7	7	2	2		27	1,701	314	230	1,814	673	102	239	318		1	304		654	3	14					
西三河南部	11	7	2	2	1	5	1,945	50	444	536	772	162	140	478	8	5	458	4	489	2	57					
	11	11	2	4	1	1	3,208	157	442	1,197	671	247	139	412	5	4	430	7	1,014		82			16		
	5	5	1	2	1	2	864	33	185	768	267	86	124	189			201	7	433		47					
西三河北部	8	8	2	3	1	67	2,967	137	312	2,557	648	101	162	306	49	35	527	10	721		469		1	40		
	3	3		1		2	414	38	79	450	136	26	53	57			66		68							
東三河南部	12	8	2	4	1	3	4,205	92	445	2,216	477	82	64	364	4		694	11	176	2	78	7		42		
	9	8	1	2	1	19	1,967	270	236	1,246	546	40	138	252	3	1	690	1	222	6	45	1	2	29		
東三河北部	2	2			1		163	9	4	23	41	9	4	22			9		35							



愛知県感染症情報

2004年第1週～第43週(平成15年12月29日～平成16年10月24日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
計	190	29,465	2,125	5,337	21,699	8,064	1,470	2,033	4,239	110	65	5,495	58	6,812	19	1,093	12	23	227	0	0
～6ヶ月	69	277	6	15	296	221	26	8	338	32		40		2		11					
～12ヶ月	59	616	56	26	1,396	521	78	45	2,444	14	5	368	11	42		14					
0歳																	5	3	1		
1歳	33	2,092	309	135	3,131	1,500	322	107	1,334	3	9	1,498	16	338	1	53			17		
2歳	9	1,947	328	250	2,333	1,332	263	139	98	2	6	1,112	7	578		39			13		
3歳	8	2,114	394	587	2,195	1,551	230	222	13	4	2	1,012	2	1,062	1	51		1	28		
4歳	4	2,528	352	1,041	2,014	1,379	211	297	4	3	5	722	6	1,413	1	53		1	23		
5歳	6	1,739	276	1,050	1,677	762	145	389		3	1	372	3	1,313	1	51					
6歳	2	1,342	113	727	1,150	345	63	288	1	6		168	2	676		30					
7歳		1,110	90	472	950	165	45	187	2	1	3	89	2	417		18					
8歳		966	50	278	699	91	20	133	1	2		34	1	314		10					
9歳		1,056	43	197	642	47	15	87	1	1	1	27	1	206		6					
5歳～9歳																		3	62		
10歳～14歳		4,275	53	296	1,447	79	26	88	2	1	2	34	3	271		29		4	44		
15歳～19歳		1,952	4	33	500	11	2	3			2	4	2	31		14			4		
20歳～			51	230	3,269	60	24	40	1	38	29	15	2	149			7				
20歳～29歳		2,465													2	147		4	2		
30歳～39歳		2,408													5	262		5	13		
40歳～49歳		1,051													2	74			6		
50歳～59歳		626													3	82		1	4		
60歳～69歳		455													2	92			6		
70歳～															1	57					
70歳～79歳		265																	1		
80歳以上		181																1	3		